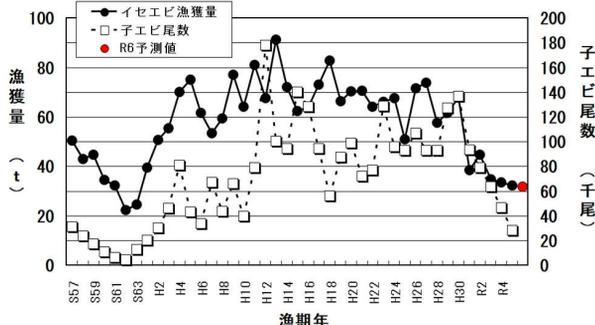


令和6年10月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

イセエビの漁況予測



↑伊豆漁協南伊豆支所のイセエビ生産者会議

当場では毎年イセエビの漁期(9月16日～翌年5月14日)前に、下田・南伊豆地区の漁況予測を発表しています。漁獲量と子エビ尾数の推移を上図に示しました。両者とも令和に入り減少傾向が顕著で、低水準であった昭和時代と同水準まで落ち込んでいます。漁況予測は令和以降の子エビと漁獲量の関係式から前

年並の32トンと予測しました。

今後のイセエビ増殖のためには、県漁業調整規則で定められた小型イセエビ保護のための体長制限の遵守(13cm以下漁獲禁止)の他、各地区の自主的な管理である操業期間や日数、網の数や長さ、漁場の制限などの再検討が必要です。

海業セミナーが開催されました

9月9日に東海大学静岡キャンパスにおいて海業セミナーが開催されました。これは静岡県と静岡県漁連が主催するセミナーで、県内各地の漁業者や漁協職員、市町、その他関係者約100名が参加しました。伊豆地域からは、いとう漁協や伊豆漁協仁科支所、西伊豆町職員らが参加し、海業推進に関する講演を聴いた後、各地域の魅力掘り起こしや活用について議論し合うワークショップに取り組みました。海業に関心の高い参加者にとって、有意義なセミナーとなったことと思います。



←ワークショップの様子

解説：海業：海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業と定義されており、伊豆地域では西伊豆町田子漁港で行われている「海釣りGO」などがある。

白浜小5年生の社会科見学

9月18日、白浜小5年生10人が「つくり育てる漁業」の学習のため会場を訪れました。

普及員から下田市や白浜地区の漁業について説明を受けた後、県内の養殖業や栽培漁業について学びました。

見学の最後には、磯根漁業の代表格であるアワビの放流用稚貝を間近で観察し、子供達はアワビの移動の速さや吸着力の強さ、軟体部の感触等に興味津々でした。

白浜小学区内では日頃から磯根漁業の様子を見ることが出来ます。子供時代の記憶として、そういった風景とともに、今回の見学内容も覚えていて欲しいと願っています。



左：生残率を高めるアワビの放流方法を説明、右：県内生産施設で卵から育てた放流用のアワビを観察

10月の予定 ●キンメダイ親魚採捕調査(南伊豆・稲取) ●イセエビ測定(下田・南伊豆) ●水産研究工学会研究会(7日WEB) ●資源海洋調査研究会(9~11日高知) ●漁業士デジタル化推進会議(11日静岡) ●東部漁業士会総会&行政との意見交換会(18日稲取)

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。